



質の向上Navi 令和5年2月発行号

～サービスの質の向上に役立つ情報をお届けします～

発行 世田谷区 保健福祉政策部 保健福祉政策課 電話5432-2605 FAX5432-3017

日ごろより、保健福祉サービスの質の向上に取り組んでいただき、ありがとうございます。

『質の向上Navi』は、サービスの質の向上に役立つ情報を発信しています。

区民が質の高いサービスを安心して利用できる環境を整備するためには、何よりも事業者自身の気付き、その上で事業者・利用者・行政（区）の三者が協力し合って取り組むことが必要です。



事故の事例紹介

今号では実際に事業所から届いた事故報告についてご紹介します。

どの内容も特殊な状況下で起こったものではなく、大丈夫だろうという思い込みや、配慮が少し欠けたことが原因で事故につながってしまったものです。

事業所等による事故発生に至った原因分析や再発防止策も報告書のまま紹介していますが、事業所の形態や職員配置、利用者の状態などにより状況は様々です。

[今号の目的]

紹介した事例を事業所内で共有していただき、自身の事業所ではどのような再発防止策を実施できるか話し合ったり、日々の業務の再点検をすることでリスクを減らし、事故を最小限に留めるための見直しのきっかけにいただければと思います。

※ 事故の事例は、事業者名や利用者名が特定されないように、また、皆様に内容が伝わりやすいように内容を編集している場合があります。

子ども事例1 【所在不明】



吹き出しは、区から事故の振り返りや再発防止策を検討する際の注意点をお伝えしています。



◆事故の概要

1～3歳児の異年齢児8名・保育者2名で公園で遊ぶうち、場が4か所に広がった。当該児は遊び疲れた様子でベンチ付近で休息していた。A保育者は当該児が動く様子がなかったことで一瞬目を離し、他の子どもの所に行き、ベンチに戻ると当該児がいなかった。A保育者は、B保育者に所在不明であることを伝え、2人で公園内を捜索するも発見できず。

所在不明から15分後、当該児は公園から出て1人でいたところを、通行人に保護され、迷子として警察に届出があったと判明した。

◆事業所の事故原因分析

- *遊びの場が4か所に広がり、保育者の目が行き届かなかった。
- *当該児は受け入れ間もなかったため、行動パターンを把握できていなかった。遊びで疲れていた様子から、その場から移動はしないだろうとの思い込みがあった。
- *所在不明判明時、直ちに保育園へ報告せず、応援要請しなかった。



◆事業所の再発防止策

- *保育者の立ち位置と役割分担を明確にし、遊びの場は保育者の目が届く範囲に設定する。
- *異年齢保育の場合、低年齢児に合わせた保育を組み立てる。

所在不明は、それ自体が重大事故です。無事に見つかったから良かったと言えません。事故を防ぐには、遊ぶ場所やこまめな人員確認、保育者間の連携が重要です。



所在不明が分かったら、直ちに保育園へ連絡し、応援体制を取ることは、行方不明の園児の捜索に加え、他の園児の安全確保の観点からも重要です。

子ども事例2 【散歩車から落下】

◆事故の概要

大きな交差点の横断歩道の手前に一時停車中、当該児が散歩車から身を乗り出して頭部から落下し、受傷した。

◆事業所の事故原因分析

- *散歩車についていた保育者が他児の世話をしている間に落下した。
- *高さが異なる散歩車が2台あり、当該児は低い方の散歩車に乗っており、落下するとは予測していなかった。当該児の身長に対して散歩車の柵が低かった。



◆事業所の再発防止策

- *散歩車は、乗車する子どもの身長にあっているか、乗り越えられない高さか確認する。
- *他児の対応中にも、散歩車に乗っている子どもから目を離さないようにする。
- *停車時は、散歩車に乗っている子どもを座らせるなど、柵を乗り越えられないようにする。



子どもは体に比べ頭が大きく重いため、散歩車から身を乗り出すことでバランスを崩し、頭から落下する重大事故につながることも予想されます。同様の事故を防ぐため、情報共有したい事例です。

子ども事例3 【用具の目的外使用】

◆事故の概要

- (1)包帯・・・かけっこのゴールテープに包帯を使用。ゴールテープの位置が高く、ゴールの際、首に包帯が巻き付き擦過傷を負う。
- (2)ティッシュ・・・鼻血にティッシュを詰めて止血、当該児が押し込み取れなくなる。
- (3)掃除用スポンジ・・・顔の油性ペンの汚れをメラミン樹脂製のスポンジで落とし、擦過傷を負う。
- (4)縄・・・大縄跳び用の細い綱で綱引きをし、子どもが手を離さなかったため手のひらに擦過傷・やけどを負う。



◆事業所の事故原因分析

- *用具の特性を把握できていなかった。
- *使用方法が適切でなかった。

用具を別の目的に使うことはありますね。その際に用具の特性を考慮せず使用してしまい、思わぬ事故に繋がってしまった事例です。



◆事業所の再発防止策

- *用具の性質を考えて、危険がないか検証する。
- *子どもが使用する際の動きをシミュレーションする。

用具の目的外使用の際は、危険はないか・子どもの年齢に合っているか等を考えて使うことが大切です。

苦情・事故報告書の提出について

- 事故が発生したら、必要な措置を講じた後、区の担当課に事故報告書を提出してください。
- 重大事故については、まず電話で報告していただき、その後、速やかに事故報告書の第一報を提出してください。
- 報告書を提出する必要がある事故の範囲や提出先等の詳細は、区ホームページをご確認ください。

世田谷区トップページ > 上部の検索バーにページ番号「29537」を入れて検索ボタンを押してください。

こちらからもご確認ください。

